

# もがみ 仕事の魅力通信



地元  
働く

「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取り組みをお知らせする通信です。

## 最上の暮らしを守る最前線！ 医療現場見学会



In  
医療法人徳洲会  
新庄徳洲会  
病院

**8月6日**、看護師等の医療従事者を志望する最上地域の高校生を対象に、新庄徳洲会病院にて現場見学会を実施しました。病院施設の見学や医療従事者との懇談の場を設け、参加生徒の医療従事者への志望意欲をさらに高め、将来的に最上地域からより多くの医療従事者を輩出することを目的としています。

場では、積極的に質問する場面が見られました。また、参加生徒の大半が山形県内、もしくは最上地域で就職することを希望しており、地元で医療に従事するイメージを持つていただくことができました。

最上総合支庁では、医療現場の緊張感や仕事の重要性を認識してもらい、最上地域への回帰・定着に結びつけるための取り組みを進めてまいります。



懇談・質疑応答の様子



懇談・質疑応答の様子

### 参加した生徒の感想

- 医療現場を初めて見学し、**将来を考えるための貴重な機会となった。**
- 患者さんにあわせて**コミュニケーションをとっている姿が印象的**だった。自分が知らなかった医療現場を知ることができた貴重な機会だった。
- 新庄・最上の医療従事者が減少してきていることを知り、**自分も地元の医療を支えていきたいと思った。**
- 医療・介護に従事している方と患者さんの関わり方を実際に見て、その場の雰囲気を知ることができた。
- 多くの医療従事者の方々が**それぞれの仕事に対する姿勢**を感じ取れた。
- それぞれの職業について細かい仕事内容を聞いただけではなく、**医師になりたい理由などを聞いて参考になった。**
- 医療にはさまざまな働き方があり、病気を治す、生活を取り戻すという大変な仕事が多いが、その**やりがいを感じられる仕事**だと思った。
- 地元で働くということが、自分にとっても患者さんにとっても良いことなのかなと思った。
- 普段はなかなか目にするのがない**検査技師や放射線技師などの話**も聞くことができ、**医療はカッコいいな**と思った。
- 医療とひとくくりにしても、**多くの関わり方や勉強の仕方**があり、今後の参考になった。

- 様々な医療職のお話を聞くことができたので、**今後の進路を考えるきっかけ**になった。
- 徳洲会病院についてだけでなく、**看護師について知ったことで、看護師を目指したい**と思った。
- 病院は医師や看護師だけでなく、**多くの職種の人関わって成り立っている**のだと知ることができた。



救急外来の様子



リハビリテーション室の様子



放射線部の様子



# 聞いてみよう! 最上の医療・福祉のはなし



**8月9日**、最上地域の高校生を対象に、現役の医療従事者等と仕事の内容・やりがいなどについて対話する座談会を、新庄市民プラザで開催しました。最初に最上保健所 山田敬子所長と県立新庄病院 主任看護師 上野智可氏から、それぞれ「**最上地域の医療事情**」、「**仕事内容、現在取り組んでいること**」について講話いただいた後、新庄徳洲会病院 介護福祉士 内田千春氏、最上保健所 薬剤師 青木洋子氏、最上保健所 保健師 松永幸子氏を加え、フリートークを実施しました。参加生徒は、**医師、薬剤師、看護師、理学療法士、臨床検査技師、介護福祉士**など様々な職種に興味を持っていたため、それぞれの立場からの話を聞くことができ、有意義な時間となったようです。

実施後のアンケートでは、**進学先卒業後の勤務地として、最上地域又は山形県内**を考えている生徒の割合が5割で、「**地元**に貢献したい。」「**恩返し**したい。」「**医師が不足している環境で助けになればいい**なと思った。」などの声が寄せられました。医療・介護系職種を目指す時に役立つ情報（奨学金・修学資金など）を網羅した「めざせ! 医療・介護のしごとハンドブック」も参考にしていただけると幸いです。

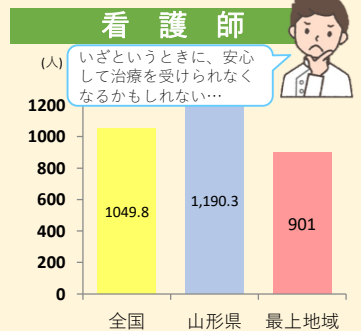
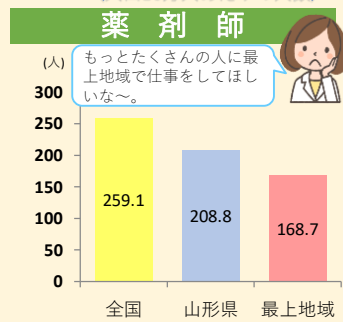
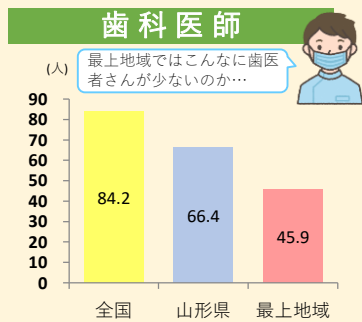
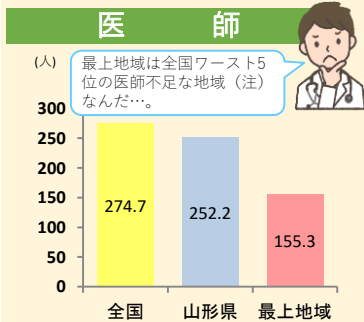
**めざせ医療・介護のしごとハンドブック**

最上地域から医療職・介護職を目指すみなさんを応援します!

令和6年7月  
山形県最上総合支庁

## 医師・歯科医師・薬剤師・看護師の人数

(人口10万人あたりの人数)



(注) 医師偏在指標(人口10万人あたりの医師数に加え、医師の年齢や地域の人口構造等の要素を考慮した客観的指標)が、最上地域は全国330二次医療圏中326位。(令和5年公表数値)

※棒グラフは令和4年時点の人口10万人あたりの人数。  
※資料: 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、 「衛生行政報告例」、山形県調べ(令和4年)



- 参加した生徒の感想**
- 様々な医療従事者のお話を聞いて楽しかった。**これから参考にしていきたい。**
  - たくさんの医療従事者のお話を聞く貴重な機会で、知りたいことを確実に知ることができた。
  - 実際に話を聞いてみて、**医療の仕事はどれもコミュニケーション力が大切**だと知った。このようにお話を聞くことができ、とても良かった
  - **インターネットでは調べることができない話**を対面で聞くことができ良かった。
  - 地域医療についてたくさんお話をもらい、**地元で働くことのやりがいを知ることができた。**
  - 大学に入ってから大変だったことや、高校生のうちからできることを聞いた。これからは**自分の好きなことを活かすことができる職業**を見つけない。
  - 病院や薬局だけでなく、**公務員として働くことができる**ことを知った。**新庄で働くことのやりがいを知り**将来に活かしたい。
  - 働くことだけではなく、試験のことや受験勉強のことについても知ることができた。
  - 色々な職種の人のお話を実際に聞くことができ、より医療に関心を持つことができた。
  - **地域で働くことのやりがい**や**地域医療の課題点**についてのお話が参考になったと思う。



サイトにアクセスすると最上地域の企業やイベント情報等が確認できます。

是非、確認してみてください!

くらしとしごと